

4 わたしたちの市の歩み

① 昔のくらしを調べよう

(1) 昔のくらしをさぐってみよう

まなぶさんは、学校や家にある古い物をさがしてみることにしました。昔の道具や写真がたくさんありました。見つけた物をみんなで持ちよって、手に持ったり、じっさいに使ったりして、昔の生活について話し合いました。



昔の小学校の写真



昔のアイロン

(2) 資料館を見学しよう

まなぶさんは、もっとくわしく調べるために地域にある「焼津市歴史民俗資料館」に行きました。



いつごろから使っていたのかな。使い方を調べてみたいな。

昔の人は、どんな道具を使って生活していたのだろう。

歴史民俗資料館に行くと、昔の道具について調べてみよう。



資料館の中の様子



昔のれいぞうこ



昔のテレビ

(3) くらしの変化を考えよう

① 道具のうつり変わり

まなぶさんは、調べた道具の絵カードを古い順にならべて、道具のうつりかわりの絵年表をつくりました。そして、昔の道具が、今はどんなふうにならべてきているかを調べて、絵年表をかんせいさせました。

	お年よりが子どものころ		父・母が子どものころ		今	
道具	<p>お年よりが子どものころ ひごのかみ お年よりが子どものころ せんたく機</p>	<p>お年よりが子どものころ せんたく機 お年よりが子どものころ せんたく機</p>	<p>お年よりが子どものころ せんたく機 お年よりが子どものころ せんたく機</p>	<p>お年よりが子どものころ せんたく機 お年よりが子どものころ せんたく機</p>	<p>お年よりが子どものころ せんたく機 お年よりが子どものころ せんたく機</p>	<p>お年よりが子どものころ せんたく機 お年よりが子どものころ せんたく機</p>
遊び	<p>お年よりが子どものころ まりつき お年よりが子どものころ おはここ</p>	<p>お年よりが子どものころ おはここ お年よりが子どものころ おはここ</p>	<p>お年よりが子どものころ おはここ お年よりが子どものころ おはここ</p>	<p>お年よりが子どものころ おはここ お年よりが子どものころ おはここ</p>	<p>お年よりが子どものころ おはここ お年よりが子どものころ おはここ</p>	<p>お年よりが子どものころ おはここ お年よりが子どものころ おはここ</p>

できあがった絵年表を見ながら、わかったことや思ったことを話し合いました。そして、昔の道具にも今の道具にもそれぞれよさがあることがわかりました。

つぎにまなぶさんたちは、道具の使われ方が今とはずいぶんちがうのではないかと思ひ、じっさいに使っていたお年寄りや父母にインタビューをして、子どものころのくらしが今とどのようにちがうのかについて調べてみることにしました。

昔の道具と今の道具をくらべて、ちがいを見つけてみよう。

絵年表のつくり方

- ①年表を三つの時期に分ける。
- ②調べたことを、左から右へ、古い順にならべる。
- ③調べたことを、どんどんつけたしていく。
- ④写真をはって、絵カードにしてもよい。
- ⑤聞いて来たことや、調べてわかったことも書き入れる。
- ⑥道具のうつりかわりのほかに、服装や遊びなどのらんをつけてたしてもよい。

お年寄りが子どものころは、どんなくらしをしていたのだろう。

今のくらしとは、ずいぶんちがうな。不便じゃなかったのかなあ。

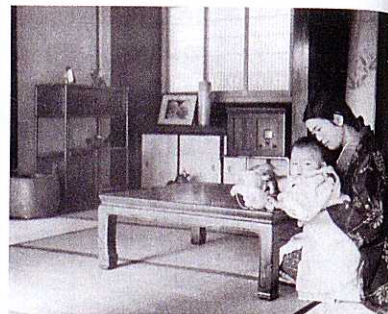


② 昭和初めのころのくらし

学校の近くに住むお年寄りに、子どものころのくらしの様子について教えていただいたり、図書館の本や写真集で調べたりしました。

昭和初めのころ

- ・大きな戦争があった。
- ・かまどでご飯をたいた。
- ・井戸からポンプで水をくんだ。
- ・竹馬やべったん（めんこ）、かんけりやおじゃみ（お手玉）をして遊んだ。
- ・紙芝居やアイスクャンディー売りがきた。
- ・ラジオがあった。
- ・お祭りで、しばいを見に人が集まった。
- ・赤ちゃんは家で産む人が多かった。
- ・自転車はあまり多くなかった。
- ・軽便という鉄道が走っていた。
- ・田植えやいねかりの時は学校が休みになった。



家の中の様子



まちの様子

昭和初めのころに子どもだった人の話

せんたくは、せんたく板を使い、ごしごし手であらったよ。冬は冷たくてたいへんだったよ。そうじはほうきを使っていたので、時間がとてもかかったもんだね。ごはんのしたくはもっとないへんで、朝早く起きてかまどでまきやわらをもやしていたんだよ。

れいぞうこは氷を入れて冷やすものしかなかったの、おさしみやお肉などは、すぐいたんでしまったから、なかなか食べられなかったよ。

自転車はもちろんラジオや電話もない家が多かったよ。男の子は、べったんやカッチン玉で、女の子はおじゃみやあやとりでよく遊んだね。



③ 平成初めころのくらし

お父さんやお母さんから子どものころのくらしの様子や遊びについて教えてもらいました。

平成初めのころ

- ・学校のおたよりにワープロ専用機せんようきが使用されていた。
- ・人との連絡れんらくにポケベルが使われていた。
- ・デジタルカメラが開発された。
- ・音楽をレコードやカセットからCDで聞くようになった。
- ・パソコンやインターネットが使われはじめた。
- ・学校にパソコン室ができ、使い方を学んだ。
- ・テレビゲームがある家庭がふえた。
- ・土曜日でも学校に行った。



家の中の様子



まちの様子

お父さんやお母さんが子どものころは、どんなくらしをしていたのだろう。

お父さんやお母さんが使っていた物は、今の道具に近いけれど、今の方がべんりそうだな。



平成初めのころに子どもだった人の話

学校からのおたよりが手書きからワープロ専用機せんようきを使った活字にかわったり、人との連絡れんらくにポケベルがつかわれたりと、新しい道具つぎつぎが次々とあらわれて、生活が便利で豊かになっていったよ。まだまだ高価こうかだったけど、パソコンやインターネットが使われ始めたのもこのころだよ。

外で野球をやったり遊ぶこともあったけど、テレビゲームを持っている友だちの家に遊びに行くことも多くなったよ。だんだんと学校の土曜日休みひが増えて、2002年からは完全かんぜんに土曜日が休日になったよ。



昔と今の駅の様子をくらべて、ちがいを発見してみよう。

② 市のうつりかわり

(1) かわるまちの様子

まなぶさんは、昔の道具を調べた時、昔のまちの様子についてきょうみをもちました。そこで、昔の焼津駅をさがして見つけた写真を見ながら話していました。



昔の焼津駅



今の焼津駅



駅のまわりの様子がちがうよ。昔は、高いたて物も少ないね。



昔の駅は小さいね。何で今は大きくなったのかなあ。



まなぶさんたちは、市の様子がどのようにかわってきたのか、調べることにしました。

調べること

- ・交通のうつりかわり
- ・土地の使われ方のうつりかわり
- ・人口のうつりかわり
- ・公共施設のうつりかわり

駅の様子が変わってびっくりだね。焼津市の様子はどうか変わったのだろう。

(2) 交通はどのようにかわったのかな

まなぶさんは、焼津市には焼津駅と西焼津駅の2つの駅があることがわかりました。そして、昔は西焼津駅がなかったことを聞きおどろきました。まなぶさんは、西焼津駅ができたことで何がかわったのか、調べることにしました。そこで、焼津市をよく知っている市役所の人に話を聞きました。

～焼津市役所の人のお話～

昭和62年(1987年)に西焼津駅はできました。それまでは、駅のあたりは田んぼがたくさんありました。西焼津駅ができたことで、駅周辺の田んぼだったところに家がたち、たくさんの方が住むようになりました。西焼津駅とともにまちができたとも言えます。今では、たくさんの方が、焼津駅や西焼津駅を利用して

焼津市の交通の広がり、どのようにかわったのだろう。



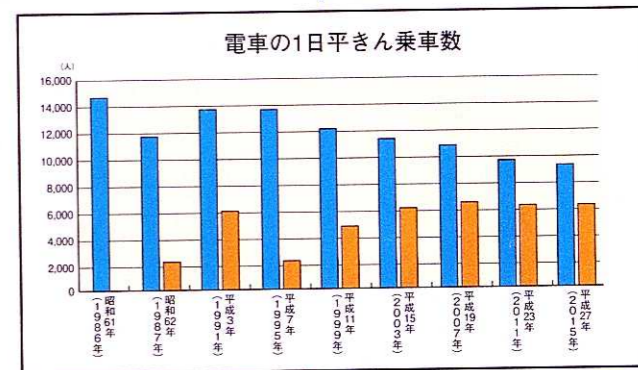
焼津駅



西焼津駅

「駅を利用する人はどのくらいふえたのかな。」

「家はどのくらいふえたのかな。」





まなぶさんたちが調べていくと、広い道路もたくさんできてきたことがわかりました。



「広い道路ができたりのびたりして、とてもべんりになったんだね。」

「高速道路があるので、遠くに出かけるのにととてもべんりだと家の人が出ていたよ。」

「大井川にスマートインターチェンジができ、大井川地区の人でも高速道路の利用がふえたね。」



(3) 土地の使われ方はどのようにかわったのかな

まなぶさんは、おばあさんから、昔は家の周りに田んぼや畑がたくさんあったと聞きました。そこで、昔と今の土地の^{つか}使われ方がわかるしりょうを調べてみました。



1961~1969年の焼津市(国土地理院) 2018年の焼津市(国土地理院)

「昔は、田んぼや畑が多かったんだね。」
「田畑が今は住宅地^{じゅうたくち}にかわっているね。」

昔と今をくらべて、土地の使われ方は、どのようにかわったのだろう。



焼津市の人口は、
どのようにかわった
のだろうか。

(4) 人口はどのようにかわったのかな

まなぶさんは、昔とくらべて人口がふえた
と家の人から聞きました。そこで、人口
がどうふえてきたのか、市役所の人にイン
タビューしました。

～焼津市役所の人のお話～

昔とくらべると、焼津市の人口がふえました。急に人口がふえたのは、
みなさんのおじいさんが子どものころかな。さい近は、外国から来て住
む人たちもふえています。平成20年(2008年)に旧大井川町と旧焼
津市が合併して、新しい焼津市ができたんだよ。

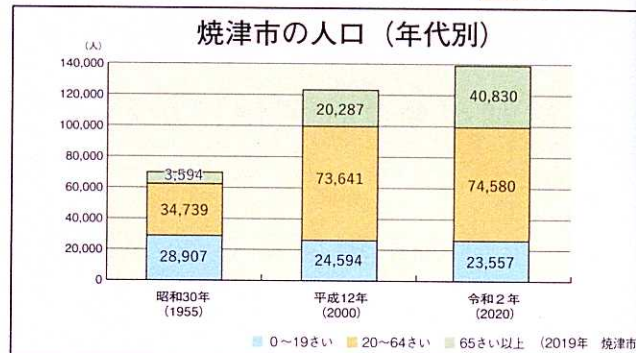
まなぶさんは、焼津市の人口のうつりか
わりのグラフを見て、気づいたことをまと
めました。



80年前とくらべて、
9万人もふえたって
びっくりだね。



お年寄りがふえているね。
人口がふえているのに、若い
人の人口はかわらないね。



(5) 公共施設はどのようにかわったのかな

まなぶさんは、焼津市の人口がふえるこ
とで、公共施設がどのようにかわってきた
のか調べました。

～焼津市役所の人のお話～

焼津市には、子育てが楽しくできるように「とまとぴあ」、お年寄りや
しょうがいのある人だけでなくだれでも利用できる「ウェルシップ」な
ど、みんなが安心して地域でくらすための施設ができました。こうした
施設は、市役所が中心となって整えてきました。公共施設をつくったり、
運いしたりするためには、市民のみなさんのぜい金が使われています。
これからも市民のみなさんがくらしやすいまちづくりをしていきます。

とまとぴあ



和田公民館



焼津市総合福祉会館 (ウェルシップ)



公民館は、地域の人が
利用します。講座で楽
しく学んだり交流の場
になったりしています。

トランポリンや卓球で遊んだり、
季節の行事をしたりするな
ど、子ども同士や親子が楽し
く交流する場所として市民の
みなさんに親しまれています。

しょうがいのある人やお
年寄りだけでなく、だれ
でも利用できるしせつで
す。みんなが社会の一員
として安心してなかよく生
活できるまちを目指してつ
くられた福祉施設です。

まなぶさんは、焼津市に住む人が、楽し
く安心してくらすために、公共施設もか
わってきたことがわかりました。

年代	～大正	昭和30年(1955年)	40年(1965年)	50年(1975年)	60年(1985年)	平成元年(1989年)	10年(1998年)	20年(2008年)	令和元年(2019年)	
交通	焼津駅誕生 (M22,1889年)		国道150線完成 (S41,1966)	東名焼津IC開設 (S44,1969)	150号バス開通 (S53,1978)	西焼津駅完成 (S61,1986)		東名大井川焼津藤枝IC 開通(H28,2016)		
土地の使われ方	田んぼや畑が多い		土地のうめ立て 小川地区など		豊田地区に住宅が ふえる		新焼津市たん生 (H20, 2008) ※旧焼津市と旧大井川町の合併			
人口	およそ3,600人 (T9年1920年)	およそ67,000人 (S30,1955)	およそ77,000人 (S40,1965)	およそ94,000人 (S50,1975)	およそ104,000人 (S60,1985)	およそ116,000人 (H7,1995)	およそ120,000人 (H17,2005)	およそ139,000人 (H27,2015)		
公共しせつ			青みねプール完成 (S37,1962)	陸上競技場完成 (S54,1979)	シールドーム完成 (H3,1991)	ディスパバーク焼津完成 (H9,1997)	ウェルシア やいづ完成 (H15,2003)	消防防災センター完成 (H11,1999)	小泉八雲記念館完 成 (H19,2007)	ターントクルこども館完成 予定 (R3,2021) 市役所新庁舎完成予定 (R3,2021)

焼津市の様子は、
どのようにかわっ
てきたのだろう。



(6) 年表をつくろう

まなぶさんたちは、これまで調べてきた交通、土地の使われ方、人口、公共施設について、年表にまとめました。

「昭和40年ごろから、広い道路がたくさん作られてきたね。」

「昭和60年には、人口が10万人をこえたね。」

「できた年表を年代ごと見ていくと、いろいろな発見がありそうだね。」

(7) 年表を見て話し合おう

年表を見ながら、まなぶさんたちは交通、土地の使われ方、人口、公共の施設がどのようにかかっているのか、そしてこれからの焼津市について話し合いました。

「人口がふえたから、住宅地もふえたね。」
「平成になると公共施設もふえてきたね。」

市が大きくなると、
何がかわってくる
のだろう。

これからの焼津市
はどのようにか
わっていくのがよ
いだろう。

～焼津市役所の人の話～

今後も子どもがへり高^{こうれい}齢の方がふえていきますが、焼津市全体では人口がへることが予想されます。市役所では、よりよい焼津市になるために、目標や計画を立てて取り組んでいます。多くの方が焼津市に住んでもらうためには、安心して子育てができること、だれもがけんこうですみ^{みりょく}ること、地域の人たちとささえ合うまちづくりなどが大切だと考えます。魅力ある焼津市となるよう、みなさんも、これから焼津市についていっしょに考えていきましょう。

「人口がへると、みんなのくらしがどうなるのか考えてみたい。」



5

県の地図を広げて

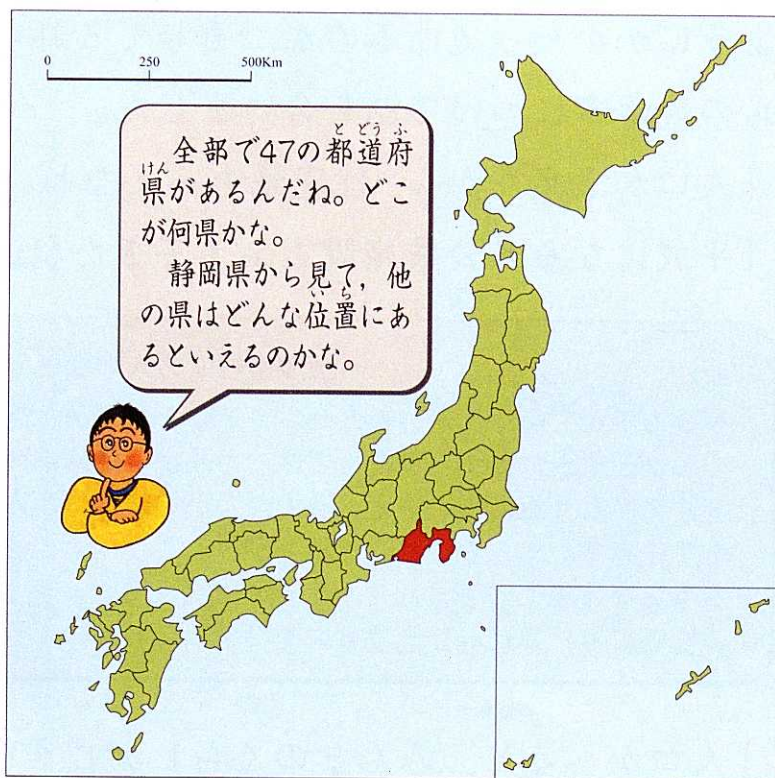
あたらしいまち「焼津」

焼津市きゅうと旧大井川町へいせいは、2008（平成20）年11月1日に合併がっぺいをし、新しい焼津市になりました。

県内でも多くの市町村合併が行われました。そして、現在、県内の市町の数かずは、市が23、町が12になりました。

わたしたちの住む焼津市しずおかは、静岡県しずおかや日本のどの辺りあたにあるでしょうか。

静岡県の位置



・47都道府県の名前をおぼえましょう。

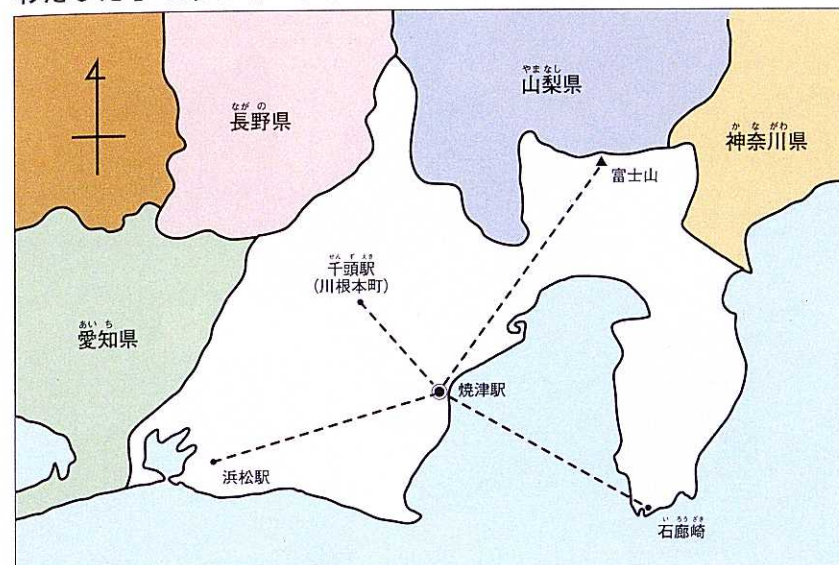
静岡県	
面積	7,777.43km ²
人口	3,686,945人
	(2020.8.1)
静岡市 <small>はままつ</small> と浜松市 <small>せいらい</small> は、人口が50万人以上の政令指定都市です。	

(1) 県の地図を見てみよう

静岡県の地図や写真などをつかって、県の形や土地の様子を調べてみましょう。

まなぶさんたちは、静岡県の地図を広げて、気がついたことを話し合いました。

わたしたちの県とそのまわり



焼津駅から見て、富士山はどちらの方角にあるといったらいだろうか。



浜松駅から見ると、焼津駅はどの方角にあるかしら。



わたしたちの県の形や県のまわりの様子はどのようになっているのだろう。

・わたしたちの県に色をぬりましょう。
・県の形を、身のまわりのものにとえてみましょう。
・大まかな県の形をかいてみましょう。

南や東には海があるね。4つの県とせっているね。

